

“良い図書館を良いと言う”
Library of the Year
2009

2009年11月12日（木）13:00～14:30

パシフィコ横浜 第11回図書館総合展 特設B会場

定員250名 参加費500円

事前申込不要（当日先着順でご案内いたします）

お問合せ： info@iri-net.org

<http://www.iri-net.org/loy/loy2009.html>

Library of the Yearとは

Library of the Year は、NPO法人 知的資源イニシアティブ(IRI)で、図書館コンサルティングを担当するグループ(座長:慶応義塾大学教授 糸賀雅児)が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

1. 今後の公共図書館のあり方を示唆する先進的な活動を行なっている。
2. 公立図書館に限らず、公開された図書館的活動をしている機関、団体、活動を対象とする。
3. 最近の1～3年間程度の活動を評価対象期間とする。

開催概要

11月12日(木)午後1時～2時30分パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)、今回決定した優秀賞3機関を対象として、最終選考を公開いたします。最終選考では、各機関についてIRIメンバーがプレゼンテーションを行い、ディスカッションを経て、審査員7名(選考会一般参加者票1を含む)による投票によって大賞を決定します。合わせて、大賞館及び優秀館の表彰式を行います。

IRIとは

2001年以来、わが国における知的情報資源の有効活用をめざしてさまざまな取り組みを続けてまいりました任意団体「知的サービス研究会」を発展的に解消し、2003年7月15日、特定非営利活動(NPO)法人「知的資源イニシアティブ」(Intellectual Resources Initiative、略称「IRI」)として新たにスタート、さらに積極的な活動を展開していくこととしました。

<http://www.iri-net.org/> e-mail:info@iri-net.org

2009 年は、第一次選考に残った 18施設・団体・サービスの中から、下記の3機関が優秀賞に選ばれ、大賞の最終選考対象となりました。

大阪市立中央図書館

プレゼンター: 糸賀雅児(慶応義塾大学)

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2
電話: 06-6539-3300
<http://www.oml.city.osaka.jp/info/10chuo/index.html>



知識創造型図書館改革プロジェクト」を開始し、商用データベースの拡充、レファレンス関連図書の実充、調べ学習支援用図書の充実、など未来志向の図書館をめざしている。特に、医療や科学技術に関するデータベースをサイトライセンスの取得により、市内の23地域館すべてで利用できるようにするなど、ハイブリッド図書館のモデルとなりえる点が評価されました。

渋沢栄一記念財団 実業史研究情報センター

プレゼンター: 岡本真 (ACADEMIC RESOURCE GUIDE)

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1
電話: 03-3910-0029
<http://www.shibusawa.or.jp/center/index.html>



単に資料を収集するだけではなく、研究機能をもつことによって情報・知識の生産を行っている点、アーカイブ・博物館と連携し、WEB配信を駆使して、図書館の枠を超えた活動をしている点が、今後の公共的な図書館のあり方について一つの考え方を示していると評価されました。

奈良県立図書館情報館

プレゼンター: 宮川陽子(福井県立図書館)

〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000
電話: 0742-34-2111 <http://www.library.pref.nara.jp/index.html>



奈良が持つ豊かな歴史と文化に着目し、伝統文化産業や関連NPOとの連携を進めるなど、従来の公共図書館サービスを越えた新たな歴史・文化との結びつきを模索し、成功している点が評価されました。



<http://www.iri-net.org/>
info@iri-net.org



アクセス

みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分
「クイーンズスクエア連絡口」より、左手奥に進み、赤の長いエスカレーターを利用、そのまま正面のエスカレーターを乗り継ぎ2Fへ、「クイーンズスクエア」を左手にまっすぐ通り抜けれます。